

指定管理業務点検・評価シート（令和3年度業務）

令和4年8月24日

施設名	鳥取県立倉吉未来中心	所在地	倉吉市駄経寺町212-5
施設所管課名	文化政策課	連絡先	0857-26-7839
指定管理者名	公益財団法人鳥取県文化振興財団	指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日

1 施設の概要

設置目的	人と人との交流を促進し、地域の活性化を図るため。
設置年月日	平成13年4月21日
施設内容	○敷地面積：21,117.63㎡ ○建物面積：16,401.81㎡ ○施設内容：大ホール（最大1,503席）、小ホール（最大310席）、第1～第10楽屋、リハーサル室、第1、第2練習室、セミナールーム1～9、アトリウム、団体事務局サロンほか
利用料金	
開館時間	午前9時～午後10時
休館日	○毎月第1,3,5月曜日（当該月曜日が休祝日の場合は、その翌日の休祝日でない日） ○年末年始（12月29日から1月3日まで） ○施設・設備の保守点検を行う日

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	①施設設備の保守管理及び修繕 ②施設の保安警備、清掃等 ③管理施設の利用の許可、施設利用料の徴収等に関する業務 ④その他施設の管理に必要な業務 ⑤倉吉未来中心を利用した文化芸術の振興に関する業務 ⑥地域との連携
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 施設の管理体制

（令和4年3月1日現在）

管理体制	正職員：16人、非常勤職員：3人、臨時的任用職員：1人〔計20人〕 館長（正職員1） 総務部〔事務・施設利用・文化事業実施〕 （正職員7、非常勤3、臨時職員1） ※県民文化会館駐在職員含む（正職員1） 技術管理部〔舞台技術・施設管理〕 （正職員8）
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4 施設の利用状況

利用者数（人）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3年度	2,904	2,772	3,476	3,654	2,978	3,772	6,247	9,292	5,967	6,158	2,627	5,929	55,776
2年度	2,384	967	3,708	5,033	3,931	6,230	10,923	9,388	7,724	2,848	3,695	5,258	62,089	
増減	520	1,805	△232	△1,379	△953	△2,458	△4,676	△96	△1,757	3,310	△1,068	671	△6,313	

利用料金収入（千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	3年度	4,746	1,667	2,580	1,477	829	965	1,483	1,661	1,742	3,351	462	1,880	22,843
2年度	3,228	1,074	367	2,616	945	1,636	2,114	3,804	2,981	2,560	719	764	22,808	
増減	1,518	593	2,213	△1,139	△116	△671	△631	△2,143	△1,239	791	△257	1,116	35	

5 収支の状況

（単位：千円）

区分		3年度	2年度	増減
収入	事業収入			
	利用料金収入	22,842	22,808	34
	小計	22,842	22,808	34
	事業外収入			
	県委託料	128,934	(123,977)	426
	倉吉市委託料	55,826	(55,295)	0
手数料・使用料収入	2,431	1,941	490	
雑収入等	6,626	6,712	△86	
小計	193,817	192,987	830	
計		216,659	215,795	864
支出	人件費	85,045	84,395	650
	管理運営費	126,126	123,356	2,770
	計	211,171	207,751	3,420
収支差額		5,488	8,044	

6 労働条件等

確認項目		状況				備考
		常勤正職員	非常勤職員 (無期労働契約)	非常勤職員 (事務)	臨時職員	
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、労働条件通知書	非常勤職員就業規則、労働条件通知書	非常勤職員就業規則、労働条件通知書	臨時的任用職員就業規則、労働条件通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	作成・届出済	※常時10人以上の労働者を雇用する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働・休日労働に関する協定書				※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	8時間				※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	自己申告、使用者の現認				※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	<ul style="list-style-type: none"> 概ね4週間当たり8日間の週休日 国民の祝日に関する法律に規定する休日数（土曜日と重複する日を除く） 年末年始（12/29～1/3） 				※幅がある場合は上限、下限を記入
		<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 [有給] 病欠休暇、特別休暇、子の看護休暇 [無給] 育児・介護休暇、海外随伴休暇 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 [有給] 特別休暇、子の看護休暇 [無給] 育児・介護休暇 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 [有給] 特別休暇、子の看護休暇 [無給] 育児・介護休暇 	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇 その他の休暇 [有給] なし [無給] 館長が認めるとき 	
給与	給与金額	302千円	179千円	163千円	164千円	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回				
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし			※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：総務課担当職員より選任			※業種・規模の要件あり

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
利用申込 利用促進	<p>○ホールの過去利用者に対する抽選申込受付のDM送付や、文化芸術事業の販売促進告知（紙面掲載等）に取り組んだ。</p> <p>○ホール座席及び手摺等に抗ウイルス処理などの感染症防止対策を行い、安心して施設を利用できるよう努めた。</p>
情報発信	<p>新聞記事へ公演事業の特集及び寄稿文掲載の他、ラジオ、フリーペーパー、SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、Youtube）を活用し各種イベント情報の発信や改修後の舞台機構の紹介まで文化芸術に係る情報発信に積極的に取り組んでいる。</p>
新たなサービス	<p>○新たなサービス・取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染予防対策としてオゾン発生機、サーキュレーターを整備するとともに、間仕切り板（無料）や検温器（有料）の貸出を行った。 ・ホワイエやサイドロビーのトイレ案内表示等をよりわかりやすくするため、カラーユニバーサルデザインによる表示へ改善した。
アンケート の実施	<p>効率的な施設運営に資するため施設利用者に対して会場の選定理由や満足度、職員の対応状況等についてアンケート調査を実施し、意見内容の分析と積極的な反映や改善に向けた検討に取り組んだ。</p>
地域懇談会 の開催	<p>地域で実施する文化芸術事業及び施設の運営・事業について意見を聴き、企画・運営に的確に活かすために地域懇談会を開催した。</p>
イベント 相談窓口	<p>イベント主催に対し、効果的な施設の利用方法や舞台の準備から撤収に係るトータルサポートを行うための窓口を設け、文化活動団体及び公共観光施設からの相談に応じた。（相談実績：3件）</p>
舞台技術支援・ 講座の開催	<p>○建築分野等に関わる学生向けに、特殊建築物であるホールの構造、設備等の見学機会を設け、体験型の教育支援を行った。</p> <p>○高校演劇部の学生向けに、演劇公演を行うための舞台づくりについて舞台・照明・音響の基礎講座を行った。</p>

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内にメッセージBOXを設置 ・会場選定理由や満足度、職員の対応等に関する意見を把握するための施設利用アンケートの実施 ・電話、FAX、Eメールによる意見等の受付 ・運営懇談会の設置・開催 ・県への「県民の声」による意見受付
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

利用者からの苦情・要望	対応状況
水屋の水皿が壊れていた。(セミナールーム9)	早急に修理対応した。
エアコンが効いていないので残念だった。(セミナールーム3)	空調設備改修工事が終了し、快適な空間のもとで利用いただくことが可能となった。
ホワイトボードの文字消しスポンジが汚れていてあまり綺麗に消せない。(セミナールーム6)	ホワイトボードレーザーのスポンジを交換した。
机のストッパーがかからないものがある。また、下の荷物置き辺りが汚いのが気になる。(リハーサル室)	直ちに点検を行い、清掃と修理を行った。
時計が2分程度遅れている。(セミナールーム8)	早急に室内の時計を調整した。
練習室の入口に鞆置場(机)が欲しい。(練習室1)	下足場の荷物置場についてはスペースを考慮し荷物置き用の椅子を追加した。
スピーカーの音質が悪く、講演の聞き取りが難しかった。(セミナールーム7)	セミナールームの音響設備について点検し調整を行った。
アトリウムのエレベーターの階数ボタンに一部押しにくい所があった。	早速エレベーターを点検し、ボタンの動作に問題がないことを確認した。
ドア開閉時に音がる。(セミナールーム4)	点検を行い調整した。

利用者からの積極的な評価
<p>〈職員の対応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明が丁寧であった。笑顔の対応で良かった。 ・HDMIの場所が分からなかった時親切に対応していただいた。 ・会場変更の対応や設備に関して等、迅速に丁寧に対応され有難かった。 ・会場の下見など大変お世話になった。質問事項などとても丁寧に回答していただいた。 ・突然のお願いにもとても感じよく対応していただいた。 ・電話で親切に対応していただいた。 ・事務処理、対応が良く、スムーズ。 ・とても丁寧な対応で分かりやすかった。 ・オンラインの接続など教えていただき助かった。 ・大変素晴らしい。スタッフの皆様もとても協力的で有難かった。 ・急な変更や追加に対応していただいた。 ・セミナールーム、アトリウム等の使用に関して、良く相談にのっていただき、当日も色々心遣いしていただき有難い。 ・不安な点についてすぐに対応していただいた。 ・打合せの時もとても良い対応をしていただいた。
<p>〈施設設備〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・綺麗で明るい設備で気持ち良く利用出来た。 ・Zoomを使ってオンライン会議が出来た。とても満足。 ・美しい施設。 ・素晴らしいピアノであった。(リハーサル室・ヤマハC2) ・エアコンの状態も良く、スクリーンも大きく、説明に集中できる環境だった。(セミナールーム3) ・トイレが多く綺麗。 ・感染対策が充分で安心して利用でき有難い。 ・照明や新しい各所のLED、ディスプレイが見やすくなっていて良かった。(小ホール) ・設備が整っているので利用しやすい。

9 指定管理者による自己点検

<p>[成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項]</p> <p>○利用者の安心・安全への取組と公平・公正な管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の安全管理と公平公正な管理運営に努め、利用者目線を第一としたサービスの向上に努めた。 ・新型コロナウイルス感染予防対策の各種ガイドラインに基づき、施設運営及び事業実施等における感染防止対策を講じた。また、鳥取二十世紀梨記念館や鳥取県男女共同参画センター等との複合施設であるため、施設内で感染者等が発生した場合の情報共有及び管理体制を整備した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一層の徹底及び施設利用者の安心・安全のため、ホール座席及び手摺等に抗ウイルス処理を行うと共に、施設の利用時間を21時30分までとし、施設利用後の消毒作業時間の確保を継続した。 ・倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センターの統括防火管理者として、3館合同消防訓練を年1回実施するとともに、倉吉未来中心のみの単独訓練を年1回実施し、火災発生時の初期消火・来館者の避難誘導・関係機関への通報体制を整えている。令和3年度は中部地震から5年が経過したこともあり、地震から火災が起こったという想定で3館合同訓練を行い、改めて職員の危機意識を高めた。訓練の当日は消防署立ち会いによる改善点等の指導を受け、より円滑で確かな消防・防災体制の構築を図った。 ・設備の点検・予防保全に努め、中長期整備計画を基に必要な改修・設備の更新を県へ要望、或いは会館で修理しながら施設の維持管理を行った。 ・倉吉パークスクエア内の施設（倉吉未来中心、鳥取二十世紀梨記念館、鳥取県男女共同参画センター、美術館整備局、倉吉交流プラザ、市営温水プール、食彩館等）による「倉吉パークスクエア会議」を毎月開催して情報共有を図るとともに、駐車場混雑時の対応を各施設と連携・調整を図りながら安全管理を行った。
<p>○施設の魅力を最大限に活用する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月から始まった1年間のホール改修工事が終わり、開館20周年と併せて大ホールと小ホールのリニューアル記念公演を開催した。更新された舞台機構と照明設備をフル活用し、生の実演芸術を通じてホールの魅力を体感していただいた。 ・改修工事後の内覧会を数回実施し、文化団体、舞台関係者、施設利用者等に先進的な設備を紹介した。特に舞台機構については、世界基準の設備を導入したことを内外にアピールできた。 ・オープンスペースのアトリウムでは、施設のコンセプトである人々が交流し情報収集する場所として様々な工夫をした。 <p>[具体例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内出身・在住アーティストを活用した無料コンサート ・館内インスタレーション（七夕飾り、クリスマスイルミネーション） ・中部地域の学生の作品や中部地域を題材とした作品等、中部の魅力を発信する作品を展示するアートギャラリー ・市内のライオンズクラブより寄贈されたデジタルサイネージを活用した中部地域の文化芸術公演情報の紹介 ・中部1市4町文化・観光情報コーナーによる中部地域の魅力発信 ・「フィギュアのみち」倉吉が取り組む「まちなかミュージアム」のフィギュアを展示し、中心市街地との動線づくり ・パイプオルガン自動演奏やストリートピアノ体験による常に音楽に触れる機会の提供 ・令和7年春に開館予定の鳥取県立美術館を紹介するコーナー設置による美術館開館の気運の盛り上げ
<p>○利用者の視点に立ったサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染防止のため、文化庁補助金を活用してオゾン発生機、サーキュレーターを利用施設に整備するとともに、間仕切り版（無料）や検温器（有料）の貸出を行った。また、Wi-Fi等のインターネット環境下でのオンライン会議や研修会が増加しており、事前にインターネット接続テストを希望する利用者には柔軟に対応した。 ・改修工事により、大ホール2階席、3階席最前列の手すりを細くし、舞台面が見やすくなった。また、小ホール客席階段にシールを貼り、転倒防止対策を行った。 ・大ホールリニューアルに併せて、ホワイエやサイドロビーのトイレ案内表示等をよりわかりやすくするため、カラーユニバーサルデザインによる表示へ改善した。
<p>○効率的な施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来館者が「快適に安全」に過ごすことができる環境を提供することを第一とし、省エネルギー、省資源への取り組みとして、節電、節水等に配慮した施設の管理運営に努めた。 ・鳥取県版環境管理システム（TEAS）Ⅱ種の更新登録を行い、職員に対する環境配慮への意識啓発や、利用者へも節水や空調設定温度の協力を啓発した。 ・ホールの改修工事期間による休館及びLED化による消費電力削減が見込まれるため、契約電力を変更し経費節減を図った。 ・経年劣化による設備の不具合が増加しているが、修理部材を購入して職員自らが修理をすることにより、修繕費を抑える努力をした。
<p>○地域との連携、文化芸術拠点としての活動</p> <p>中部地域の交流・活性化拠点として、文化芸術（実演芸術）が持つ力や管理施設の特徴を活かした企画を通じて心豊かな“ひとづくり”と活力ある“まちづくり”を目指す「倉吉未来中心 未来つながるプロジェクト」に取り組んだ。このプロジェクトでは①将来を担う子どもたちへの取組 ②交流促進・賑わい創出の取組 ③活動支援の取組の3点を重点ポイントとし、特に地域の全ての子どもたちが等しく文化芸術（実演芸術）に触れることで豊かな感性と創造性を育み、将来的に地域をより発展させる人材へと育つことを展望に掲げ、本プロジェクトを推進した。</p> <p>また、鳥取県文化振興財団の中部拠点として、中部地域の文化振興を目的に、文化振興財団主催事業及びとりアート中部地区事務局業務（県移管事業）に取り組んだ。</p>

【倉吉未来中心「未来つながるプロジェクト」の主な取組】

①令和2年度は新型コロナの影響により中止や変更が相次いだが、令和3年度は、地域の文化振興の牽引役としてアートの灯を守るべく、関係機関作成のガイドライン等に沿って対策を講じながらほぼ計画通りに企画を進め、子どもから大人まで、地域住民が生の実演芸術に触れる機会の確保・充実に努めた。感染が急拡大した時期の催しについては集客に苦戦したものもあったが、プロ・アマチュアを含めた多様なジャンルの音楽公演や人気落語家による独演会など、多種多様なコンテンツにより人々の心に潤いをもたらすとともに、地域活性化拠点として施設の賑わいの創出に努めた。

②重点ポイント1「将来を担う子どもたちへの取組」

地域の将来を担う子どもたちへの取組として、未就学児から来場可能な「ハッピーマイルコンサート」を倉吉未来中心を会場に3企画、北栄町及び琴浦町を会場に1企画開催した。出演は県内在住の若手音楽家を起用し、小ホール、アトリウム及び町所有施設を会場に、弦楽器・管楽器・打楽器・ピアノ・声楽・読み聞かせなどの多様なプログラムの公演を開催した。コロナ対策として1回当たりの定員を制限しつつも、各公演とも2回公演とし、一人でも多くの子どもたちが鑑賞出来るよう環境を整え、約650名の来場実績となった。県内でも子どもが集まる催しや施設が少ない中部地区において、倉吉未来中心が率先してこの種の企画を展開することは非常に意義があり、来場者アンケートからもそのニーズは高い。

また、福祉施設（児童養護施設・母子生活支援施設）との連携について、これまでは施設にアーティストが出向き、ミニコンサートを開催していたが、新型コロナ対策としての密集の回避と開館20周年及びホールリニューアルに際し、3年度は希望者をホール公演へ招待し、アウトリーチからインリーチへの流れをつくるとともに、福祉と実演芸術の橋渡し役を担った。（実績：2公演58名）

③重点ポイント2「交流促進・賑わい創出の取組」

交流促進・賑わい創出の取組として、施設の特徴を活かした企画の数々を実施した。まずアトリウムでは、季節の館内装飾をバックにしたミニコンサートや自由にピアノを弾くことのできるストリートピアノ体験などを実施し、上記のアトリウムでの「ハッピーマイルコンサート」と併せ、オープンスペースの特徴を活かし、開放的な空間の中で気軽に実演芸術に触れることの出来る企画を実施した。

また、多様な利用形態が可能な小ホールでは、開館20周年及び小ホールリニューアル記念シリーズとして、館内に設置してあるパイプオルガンを活用したパロックコンサートや人気落語家の独演会、「ハッピーマイルコンサート」のホール版、さらには、鳥取県に所縁のあるプロアーティスト2組による平土間仕様でのライブイベントなどを開催し、その魅力や利用形態の多様性をアピールした。さらに、館内のギャラリースペースでは中部地区の魅力発信をテーマとした展示企画の数々や、鳥取県立博物館・鳥取短期大学と連携した季節の館内装飾の設置なども行い、コロナ禍ではあるが、年間を通じて様々な企画により、施設の賑わい創出に努めた。

④重点ポイント3「活動支援の取組」

活動支援の取組として、主に舞台技術に関することで地域の文化活動を下支えた。これまで合同で開催していた高校演劇部員向けの舞台技術講座は新型コロナ対策で個別開催とし、継続的に支援を行った。また、新たに一般向けの舞台技術講座を計画し、各町ホールの舞台スタッフや一般活動者へ、舞台技術の専門家として培ってきた知識や技能を伝えた。

⑤その他・4町へのアウトリーチ

「未来つながるプロジェクト」として「春風亭一之輔独演会」を三朝町で、「ハッピーマイルコンサートin北栄町・琴浦町」を北栄町及び琴浦町で、さらには財団主催事業として「モルゴーア・クアルテットコンサート」を湯梨浜町で、「青少年のためのヴァイオリンコンサート」を北栄町で開催し、令和3年度は中部地区4町全てでアウトリーチ公演を開催することができた。内容もキッズコンサート、クラシックコンサート、落語公演と多岐にわたっており、中部地区全域で、地域に居ながらにして上質な実演芸術に触れることのできる機会の創出に努めた。

⑥その他・来場者評価

「未来つながるプロジェクト」の来場者アンケートにおいて、催しの満足度とは別に①「催しに参加して心が元気になったり、癒しを感じたか」②「催しがまちづくり・ひとつりにつながっているか」の2点を毎回問うているが、令和3年度の平均値（対象7公演）として、設問①②ともに92.9%と高い数値となり、プロジェクトが目指す「心豊かなひとつり・活力あるまちづくり」に対して一定の評価を得ることができた。

⑦その他・外資の獲得

「未来つながるプロジェクト」の安定的な事業推進と財源の確保を目指し、令和3年度は2件の助成金を申請し、内1件・30万円を獲得した。取組を始めたばかりで未だ申請件数も少ないが、今後は広く助成金の情報を集め、積極的な申請を行う予定である。

【文化振興財団・中部地区拠点としての主な取組】

①開館20周年及び大ホールリニューアル記念として、「野村万作・萬斎狂言会（新日本海新聞社共催）」「大阪フィルハーモニー交響楽団 ハッピーニューイヤークンサート」「スターダンサーズ・バレエ団『バレエドラゴンクエスト』」の3公演を開催した。「大阪フィル（以下省略）」は、新型コロナの影響で中止とした海外アンサンブル公演の代替として開催したもので、中止決定から非常に時間が無い中での調整ではあったが、これまで培ってきた関係性により即座にオーケストラ公演を招聘し、県民の鑑賞機会を確保することができた。また、「スターダンサーズ・バレエ団（以下省略）」は、3年以上前からアプローチしていた公演であったが、新型コロナ対策として打ち出された文化庁の助成金が上手く活用でき、僅かな経費で大型バレエ公演を開催することができた。さらに、同公演では改修工事で導入された舞台装置の数々が余すことなく使われ、リニューアルに相応しい華やかで豪華な公演を招聘することができた。

②アウトリーチ事業として、大栄農村環境改善センター（北栄町）にて、北栄町及び琴浦町の小学生を対象に「青少年のためのヴァイオリンコンサート」を開催した。これは、（公財）日本音楽財団が全国数ヶ所でのみ開催している、一流の音楽家が弦楽器の名器「ストラディヴァリウス」を演奏するコンサートで、3年度は鳥取県が選ばれ、北栄町と日南町での開催であった。このうちの北栄町公演を倉吉未来中心文化事業課が担当し、北栄町及び琴浦町の各教育委員会との綿密な連携の下、220名を超える児童にその貴重な音色を届けることができた。

また、湯梨浜町においては、日本トップクラスの演奏家が編成された弦楽四重奏団「モルゴーア・クアルテット」のコンサートを同町の愛好者団体「湯梨浜でクラシックを聴く会」及び湯梨浜町との共催の下開催し、湯梨浜町の文化事業実績へとつなげた。さらに琴浦町及び三朝町においては、「未来つながるプロジェクト」でアウトリーチ公演を開催し、財団事業及び館事業を含め、4町でアウトリーチ公演を開催することができた。これらの公演には舞台スタッフも帯同し、照明、音響の効果をはじめ、舞台監督によるスムーズな進行を行うことができた。

【とりアート中部地区委員会事務局としての主な取組】

①令和2年度は規模縮小での開催となったが、令和3年度は、事務局として関係機関作成のガイドライン及び「未来つながるプロジェクト」や財団事業で培ったコロナ対策の経験やノウハウを提示しながら実行委員をサポートし、対策を講じた上でほぼコロナ禍前の実施形態に近づけ、多くの地域住民や活動者に鑑賞・体験・参加の機会を提供することができた。鳥取県文化芸術事業評価委員会の評価においても、感染対策と実施形態・内容の両立に高評価を得ることができ、安心・安全で充実した催しへと導くことができた。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕

〔現在、苦慮していること〕

- ・新型コロナウイルス感染拡大による施設利用キャンセルの影響は、施設利用料収入の減収のみならず、来館者の減少によりレストラン等のテナントや自動販売機の売上にも多大な影響を及ぼした。令和3年度は、国庫助成金や民間助成金を活用しながら事業を実施するとともに、稼働率低迷による光熱水費の縮減により黒字決算となったが、今後のアフターコロナを見据えて安定的な収入の確保と稼働率が上がることに伴う光熱水費増加との収支バランスの取り方が課題である。
- ・原油高騰による電気料金や灯油価格の値上げ等の物価変動が及ぼす収支への影響。
- ・経年劣化による施設・設備等の改修が増加することによる工事の日程調整。

〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕

- ・施設・設備等の改修工事が進む中、利用者への影響が最低限となるよう工事計画を調整するとともに、県の中長期保全計画を基に、経年劣化の進行度合による計画の進捗調整や利用者の要望等をうかがいながら、今後の改修工事等に反映させ、安心・安全な施設運営を行う。
- ・新型コロナウイルス感染拡大を機に非対面・非接触方式が定着した世の中の動向に合わせ、施設予約システムによるWEB予約及びキャッシュレス決済の令和4年4月稼働開始を目指し導入準備を進めた。これらを積極的に推進するとともに、利用者の声を聞きながら利便性を高める工夫をし、より一層の利用促進を推進する。
- ・「未来つながるプロジェクト」において、子どもを対象とした「ハッピースマイルコンサート」をその中核に据え、特に未就学児を中心とした子どもの実演芸術鑑賞・体験企画を充実させているところである。回を重ねる度に来場者の反応等からその必要性・重要性を感じているところではあるが、次のステップとして、幼児教育の専門家のアドバイスを取り入れ、より充実した内容を提供できるようブラッシュアップを図り、子どもたちへの文化芸術に対する取組をより充実させる。

- ・同じく「未来つながるプロジェクト」において、将来が期待される県在住・出身の若手アーティストを積極的に起用することで活動機会の充実を図り、若手アーティストの育成へとつなげていく。
- ・市町村との連携強化を図る文化振興財団の事業方針に沿い、中部地区の文化振興拠点として、令和3年度に引き続き中部地区4町との関係性を意識した取組を展開していく。各町との連携の下、町所有ホール等を会場としたアウトリーチ公演や舞台技術ワークショップを通じて、各関係機関との連携をより密にすることにより、中部地区の文化振興及び人材育成に努めていく。
- ・申請可能な助成金に積極的にチャレンジしていき、倉吉未来中心によるプロジェクトを推進するための安定的な財源確保を目指す。
- ・鳥取県立美術館開館の気運を盛り上げるため、地域と連携した取組や鳥取短期大学と文化芸術をベースとした地域の活性化に繋げる取組を推進する。

10 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	4	○定期的に施設設備の点検を行い、適宜維持修繕を実施している。 ○安全衛生委員会の実施や緊急地震速報受信時の行動訓練等、平時の防犯・安全対策と災害時の避難誘導に関する事前検証等危機管理に取り組んでいる。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	適切に対応されていると認めらる。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○利用者目線に立った丁寧な利用受付と案内を行い、貸出備品等に関するスムーズな利用に資するよう細かな利用指導・操作に取り組んでいる。 ○舞台技術や設備に関する助言指導の他、新型コロナウイルス感染症対策等イベント実施に係る相談へ対応し、幅広い観点で利用者のトータルサポートに取組み、施設利用に係る安全安心と付加価値の向上に寄与している。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○過去利用者に対する施設リニューアル情報やホール抽選申込受付に関するDM発送等、施設の利用促進に取り組むとともに、利用者アンケートを通じ施設の利便性向上に向けた積極的な検討に取り組んでいる。 ○ホール座席及び手摺等に抗ウイルス処理などの感染症防止対策を行い、安心して施設を利用できるよう努めた。 ○ホワイエやサイドロビーのトイレ案内表示等をよりわかりやすくするため、カラーユニバーサルデザインによる表示へ改善した。
[活性化事業の実施状況] ○実施内容	4	○地域の文化振興の牽引役として、関係機関作成のガイドライン等に沿ってコロナ感染症対策を講じながらほぼ計画通りに企画を進め、地域住民が生の実演芸術に触れる機会の確保・充実に積極的に努めた。(鑑賞型事業「大阪フィルハーモニー交響楽団ハッピーニューイヤーコンサート」、「野村万作・萬斎狂言会」等を実施。) ○地域の文化活動者への支援として、これまで合同で開催していた高校演劇部員向けの舞台技術講座は新型コロナ対策で個別開催とし、支援継続の努力を行った。 また、新たに一般向けの舞台技術講座を計画し、各町ホールの舞台スタッフや一般活動者は、舞台技術の専門家として培ってきた知識や技能を伝えた。 ○効率的、効果的な施設運営及び文化芸術事業を実施する目的で、施設利用者を対象としていた「運営懇談会」を「地域懇談会」に改め、東部、西部へ出向き、多様な業界の方々の意見の収集に努めた。 ○地域との連携について、令和3年度は中部地区4町全てでアウトリーチ公演を開催した。内容もキッズコンサート、クラシックコンサート、落語公演と多岐にわたっており、中部地区全域で、地域に居ながらにして上質な実演芸術に触れることのできる機会の創出に努めた。
[収入支出の状況]	4	新型コロナウイルス感染症禍においても施設設備の衛生化や施設利用に係る利用者への効果的な感染症対策の助言・案内等を通じて施設の利用促進を図り、継続的な施設の維持修繕費支出や原油高騰のあおりを受けながらも経費節減等に取組、安定的な収支決算で事業年度を終えた。
[職員の配置]	3	協定の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
[会計事務の状況] ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書(月次)における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務 (利用券、利用券管理簿の管理など) ○必要な規程類の整備 (会計規程、協定書等で整備が定められている規程など)	3	適切に対応されているものと認められる。
[関係法令の遵守状況] ○関係法令に係る行政指導等の有無等 ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 ○県内発注(鳥取県産業振興条例)	3	主催事業において集客拡大による電力使用量の削減やCo2排出抑制、OA用紙の廃棄量削減に取り組むとともに、定期的に敷地内美化活動に取り組む、鳥取県環境管理システムに沿って適切に対応されているものと認められる。

[県の施策への協力] ○障がい者就労施設への発注	3	飲食事業の運営(アトリウム喫茶)に係る施設の部分使用契約を障がい者福祉団体と締結している。
総 括	3.5	施設利用に係る基本的な管理運営はもとより、施設利用者の更なる利便性向上や効果的かつ安全安心なイベント運営に資する助言指導等を行うなど、文化芸術事業の継続と発展に向けて、地域の文化活動拠点としてその役割と機能維持・向上に取り組んでいる。

- 《評価指標》 5 : 協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。
- 4 : 協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
- 3 : おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
- 2 : 協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
- 1 : 協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、計画・目標、前年度実績を大きく下回っているなど、大いに改善を要する。
- ※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。